

スケジュール

複数年にわたる事業計画を支援します。

複数年度事業(2か年)の場合



よくある質問

申請者様から寄せられるよくある質問を紹介します。
※詳しくはSIIにお問い合わせいただくか、公募要領をご確認ください。

Q 別の補助金との併用は可能ですか。

A 本事業を活用する場合も、他の国庫補助金への申請自体は可能です。
ただし同一設備に対して2つ以上の補助金を受け取ることはできません。

Q 補助対象製品(断熱窓、断熱材、高効率空調、制御機能付きLED照明、BEMS)を全て導入する必要がありますか。

A BEMSの導入は必須要件となります。その他の補助対象製品は全て導入する必要はありません。
適切な製品を導入し、外皮性能BPIが1.0以下及び建物用途毎のBEI要件を達成できるようにしてください。

Q 補助対象製品となっている「断熱窓」「断熱材」「高効率空調」「制御機能付きLED照明」「BEMS」はどの製品でも補助事業に使えますか。

A 特設WEBサイトの「型番検索」で表示される製品をご使用ください。

Q BPIやBEIの算定は補助対象ですか。

A 環境省事業のZEB補助金(非住宅建築物ストックの省CO2改修調査支援事業)が活用可能です。
詳しくは <https://siz-kankyuu.com/2024correctionco2/stock/> をご確認ください。

Q テナントとして店舗経営をしています。どのように申請すればよいですか。

A 商業用ビル等でテナント(店子)が設備所有者である場合は、建物所有者とテナント(店子)の共同申請としてください。
(公募要領17ページ参照)

留意事項

- 当資料は本事業の概略を説明するものです。申請にあたっては必ず公募要領等をご確認ください。
- 補助金申請にあたっては、インターネット環境が必要です。補助事業ポータルサイトにアクセスしてユーザ名を取得のうえ画面の内容に沿って必要事項の入力を行っていただきます。
- 補助金の交付決定の前に、既に契約、発注等がなされた事業は、交付対象とはなりません。
- 交付決定した事業者名、補助事業の概要等をSIIのホームページ等で公表します。
- 事業完了(設置完了、検収、支払完了)後、SIIに実績報告書を提出する必要があります。SIIの確定検査後に補助金を支払います。
- 導入した設備は、善良な管理者の注意をもって管理し、補助金の交付の目的に従って、その効率的運用を図る必要があります。
- 事業完了後、予め定められた期間、BEMSデータと共にSIIが指定する先に事業報告を行っていただく必要があります。
- 導入した設備を財産処分する場合は、予めSIIの承認を得る必要があります。補助金を返還いただく場合もあります。

脱炭素ビルリノベ事業

業務用建築物の脱炭素改修加速化事業

オフィスビルや商業ビル等の既存の建築物において、断熱改善や高効率な空調・照明への更新を行うことで、光熱費削減、資産価値や作業環境の向上が期待されます！

「断熱窓」、「断熱材」の導入により、
改修後の外皮性能BPIを1.0以下にする。



高効率な「空調」、「照明^{*}」の導入により、

1次エネルギー消費量が省エネルギー基準から

用途に応じて30～40%以上削減する。

公募期間

※ 照明は、制御機能付きLED照明器具に限ります。

2024年3月29日～2024年11月29日

交付決定額の合計が予算額に達した場合、公募期間内であっても交付申請の受付を終了します。

申請を受け付け、審査が終了次第、随時採択の決定を行います。

* 既存建築物の環境性能によっては、いずれかの設備導入でも申請できます。

お問い合わせ先

0120-102-912

受付時間 平日10:00～12:00、13:00～17:00(土曜、日曜、祝日を除く)



事業の詳細はこちらより



まずは、アカウント登録から

メリット

補助金の活用によるメリットを紹介します。

- 1 工事費分も含んだ定額補助の設定
- 2 複数年で改修工事を中断することなく対応可能
- 3 第三者認証※を取得するためテナントへの訴求あり
※BELS認証

設備費+工事費での補助額となっています。最大3年間での補助事業の実施が可能！さらに定額補助なので相見積もりも不要！

環境に配慮した建築物を求めるテナントや投資家は増加傾向！

補助対象建築物

以下に示す用途の建築物が補助対象建築物となります。



※ 建築物省エネ法上の基準省令で定められた用途および対象用途の具体例に準じます。詳細は、公募要領をご確認ください。

補助額

設備費と工事費に係る費用の1/2~1/3に相当する定額を支援します。

上限額
1事業あたり 10億円

下限額
1事業あたり 500万円

本補助金を活用して建築物を改修する場合のイメージ

6,000万円の改修費用

2,300万円※の補助金

※補助金額はあくまでも参考です。

活用方法のオススメ

用途別に本補助金の活用イメージについてご案内します。
※あくまでシミュレーションの一例になります。

事務所の場合



導入設備		
設備	仕様	
外皮断熱	外壁	ウレタンフォーム断熱材/フェノールフォーム断熱材
	屋根	ウレタンフォーム断熱材
	窓	Low-E複層ガラス/金属樹脂複合製
空調	機器(熱源)	パッケージエアコン/全熱交換器
	システム	-
照明	機器	LED照明器具
	システム	在室検知制御/明るさ検知制御



※削減コストは、電力利用額:1kWh当たり20円、ガス利用額:1㎡当たり85.5円を乗じた値

老人ホームの場合



導入設備		
設備	仕様	
外皮断熱	外壁	ウレタンフォーム断熱材/グラスウール断熱材
	屋根	ポリスチレンフォーム断熱材
	窓	-
空調	機器(熱源)	ビルマル(EHP)/パッケージエアコン/外気処理EAC/全熱交換器
	システム	外気取入れ量制御システム(CO2制御)
照明	機器	LED照明器具
	システム	在室検知制御/明るさ検知制御/タイムスケジュール制御

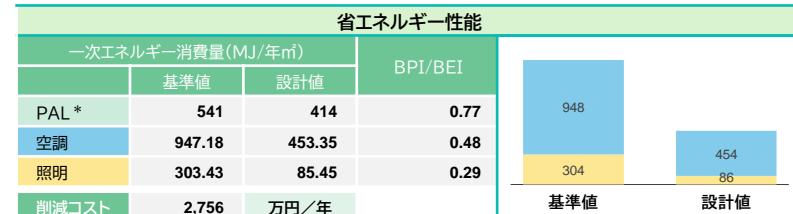


※削減コストは、電力利用額:1kWh当たり20円、ガス利用額:1㎡当たり85.5円を乗じた値

学校の場合



導入設備		
設備	仕様	
外皮断熱	外壁	ロックウール断熱材
	屋根	ポリスチレンフォーム断熱材
	窓	Low-E複層ガラス/金属製
空調	機器(熱源)	全熱交換器組込型空調機/ビルマル(EHP)/マルチファンユニット
	システム	井水熱利用システム(空調ヒートポンプ)/外気冷房システム等
照明	機器	LED照明器具
	システム	タイムスケジュール制御/在室検知制御



※削減コストは、電力利用額:1kWh当たり20円、ガス利用額:1㎡当たり85.5円を乗じた値

※掲載画像はイメージです。